

東部保健医療圏(埼玉県地域保健医療計画)の圏域別取組

1 圏域別取組の概要

当計画は、第7次埼玉県地域保健医療計画(計画期間:平成30年度から平成35年度までの6か年)として策定されたものである。策定に当たり、県内10の保健医療圏の一つである東部保健医療圏の特性や実情に即して、「地域の子育て支援の充実」「生活習慣病を踏まえた健康づくり対策」「心の健康対策」「健康危機管理体制の整備充実」「在宅医療の推進」の五つを「圏域別取組」として具体的に施策を定め、計画的に推進している。

これらの圏域別取組施策は、県だけでなく、市町、保健医療関係機関・団体等、関係者の推進すべき施策の方向性を示すとともに、住民の自主的、積極的な活動を誘引するものである。

平成30年度は、各実施主体においてそれぞれの取組を推進した。

2 圏域別取組の目標と主な取組

【地域の子育て支援の充実】

【目標】

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。

また、小児救急医療体制の維持・充実を図るとともに、適切な受診を促進するため情報提供や意識啓発に努めます。

【主な取組】

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築

小児救急医療体制の維持・充実

小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発

実施主体:市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

【生活習慣病を踏まえた健康づくり対策】

【目標】

生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。

【主な取組】

食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供

特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進

がん検診受診率の向上

糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進

実施主体:医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

【心の健康対策】

【目標】

必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。

【主な取組】

精神保健に係る関係機関との連携強化

精神保健に係る情報提供や相談体制の充実

退院後の地域支援体制の充実強化

実施主体：保健所、市町、医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設等

【健康危機管理体制の整備充実】

【目標】

県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実に努めます。

【主な取組】

地域における健康危機管理体制の充実強化

大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組

感染症対策の強化

食の安全・安心確保

実施主体：保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部等

【在宅医療の推進】

【目標】

地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。

【主な取組】

在宅医療・介護の連携の推進

在宅医療連携拠点の充実

在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援

関係機関の連携の推進

実施主体：市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設等

3 埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会

- (1) 開催日等：平成30年8月30日(木) 春日部市立医療センター
議 事： 病床機能報告データ分析結果について
「新公立病院改革プラン」「公的医療機関2025プラン」
対象病院によるプラン説明
病院整備計画の公募について
- (2) 開催日等：平成30年11月29日(木) 春日部市立医療センター
議 事： 病院整備計画の公募について
- (3) 開催日等：平成31年2月14日(木) 春日部地方庁舎大会議室
議 事： 今後の病院整備計画について
東部医療圏内の医療機関の状況について
新型インフルエンザ等対策の取組状況について

4 埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会

東部保健医療圏における在宅医療の取組の推進を図るため、上記協議会の専門部会として平成25年10月に設置された。

(1) 在宅医療部会の開催

日 時 平成30年8月20日(月) 19:00~20:30
会 場 草加保健所 大会議室
出 席 者 委員17名中15名出席(ほか代理出席1名)
議 事
在宅医療における多職種連携の現状と課題について
(医師、地域連携、訪問看護及びケアマネージャーの各立場の委員から報告)
在宅医療の広域的な取組や連携推進における課題等について
意見交換

(2) 専門職向け在宅医療研修会(専門職人材育成研修)の開催

日 時 平成31年2月27日(水) 14:30~16:30
会 場 八潮メセナ 集会室
参 加 者 39名(医療機関・薬局・介護事業者・行政)
内 容 等
埼玉県医師会制作DVD上映「さあ始めよう、人生会議」
「上田保健福祉事務所管内におけるターミナルケアと在宅介護の取組について」
講 師 長棟 美幸 氏(長野県上田保健福祉事務所長兼上田保健所長)
「もしバナゲーム」

(3) メディカルケアステーションの利用状況等に関するアンケート

目 的 メディカルケアステーション(MCS)の利用状況や課題等を把握することにより、MCSの今後の活用に資する。

実施時期 平成30年11月～12月

対象機関 訪問診療医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター(計192機関)

回 答 数 訪問診療医療機関 30

訪問看護ステーション 19

居宅介護支援事業所 46

地域包括支援センター 16

合 計 111機関(回答率57.8%)

結果概要

<課題等>

登録していない一番の理由は「取扱いに不慣れ」(45%)であり、非登録者の多くがMCS自体や個人情報の取扱いに不安を感じている。

不便・不満な点として「医師しか患者グループを作成できない」「関係者すべてが招待されない」との意見も36%と多くなっている。

「多いに有用」と「どちらかといえば有用」を合わせて82%が「有用」との評価であった。